

## 「ヒト iPS 細胞由来膵前駆細胞の拡大培養法の開発」について

### (1) この研究の目的と意義について

1型糖尿病をはじめとする重症の糖尿病では、頻回のインスリン注射による治療を行っても、血糖値のコントロールが困難であり、低血糖発作や多くの合併症を発症します。唯一の根治的治療法である膵臓移植と膵島移植も深刻なドナー不足の問題が存在しております。この問題を解決するために、ヒトの iPS 細胞から作った膵細胞を移植する再生医療の開発が期待されておりますが、ヒト iPS 細胞から移植用の膵細胞を低コストかつ安定的に供給することはまだ可能となっておりません。本研究では、ヒト iPS 細胞から作製した膵細胞を培養皿上で増殖させる化合物を探索し、その化合物を用いてヒト iPS 細胞から低コストかつ安定的に移植用の膵細胞を供給する方法を開発することを目指します。

### (2) 研究の方法について

本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院の医の倫理委員会で承認された別の研究計画（受付番号：R91/G259）にご参加いただいた健常者の方から作製した iPS 細胞を膵細胞に変化させ、共同研究機関（企業）が開発する化合物を用いて膵細胞の増殖培養法の開発を行います。

研究期間 : 承認日～2020年3月31日

研究機関 : 京都大学 iPS 細胞研究所

研究責任者 : 増殖分化機構研究部門・教授・長船健二

研究で利用する試料・情報等の項目	<試料> 先行研究 R91/G259 で樹立した健常者由来 iPS 細胞および市販試料から樹立した健常者 iPS 細胞とそれらの iPS 細胞からの分化細胞 <情報> なし
試料・情報の利用目的及び利用方法	健常者由来 iPS 細胞を膵前駆細胞に分化させ、膵前駆細胞を増殖させる化合物の探索に利用し、その化合物を用

	いたヒト iPS 細胞由来の臍前駆細胞の拡大培養法の開発研究を行う。
試料・情報を利用する者の範囲	京都大学 iPS 細胞研究所
他機関へ提供する試料や情報等	<試料> 試料の提供はしない <情報> 情報の提供はしない
他機関へ提供する方法	<試料> 試料の提供はしない <情報> 情報の提供はしない
提供先における試料・情報の管理責任者	機関名：該当なし 研究責任者：該当なし

### (3) 個人情報の取扱いについて

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

### (4) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

### (5) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象者に該当する方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

### (6) 連絡窓口

京都大学 iPS 細胞研究所 CiRA 倫理審査委員会事務局  
 電話番号：075-366-7008  
 受付時間：平日 10:00～17:00  
 Eメール：[ips-ethics@cira.kyoto-u.ac.jp](mailto:ips-ethics@cira.kyoto-u.ac.jp)  
 期 日：2019年6月4日17時まで(原則として、情報公開から2か月間)

以上